



取手市歩こう会 会報 7月

《例会の案内》

7月9日(土)

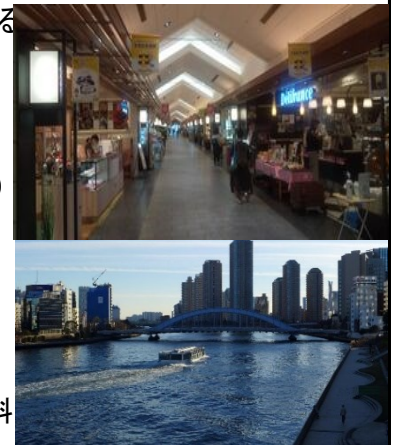
雨天決行自由参加

隅田川と東京ミズマチウオーク

担当/田中・日野

東京ミズマチは、下町の新スポットとして注目されています。2020年6月浅草駅～とうきょうスカイツリー駅間の高架下にできた商業施設です。西の市で有名な鷺(おおとり)神社・かつば橋商店街・雷門・浅草商店街を歩き、隅田川(160m)の「すみだりバーウオーク」を歩き、台東区と墨田区の両方にある隅田公園を歩き(墨田区の公園で昼食)。午後は、東京ミズマチを散策します。

1. 集合 取手駅西口ペDESTリアンデッキ 8時10分
2. 交通機関 JR取手駅8時36分発(常磐線快速)～上野駅9時17分着(下車)
3. コース 上野駅入谷改札口～鷺(おおとり)神社～かつば橋商店街～浅草公会堂前～雷門前～隅田公園(台東区)～すみだりバーウオーク～墨田公園(墨田区・昼食)～東京ミズマチ～言問橋～隅田公園(台東区)
4. 距離・認定 9 km(JVA) 5. 解散 14時30分頃 6. 参加費 会員無料
・会員外 300円 7. その他 マスク着用・昼食持参



写真/上・東京ミズマチ・下/隅田川

《例会の案内》

7月23日(土)

雨天決行 自由参加

稲田の石切り山脈ウオーク

担当 /五十嵐・重信・大塚

昨年の2月に計画していましたが、コロナ感染で中止しました。その時多くの方より参加の連絡を頂いており、今回再計画をいたしました。100年以上続く稲田の石切り採石場「石切り山脈」。南北5km、東西10kmに及ぶ「茨城のグランドキャニオン」。「地図に無い湖」としてSNS・ネットで話題となり人気を集めており、県内外から年間25,000人が訪れる。「湖は5年前、採算面から採石を中断した際、雨水や湧き水をポンプで抜くことを止めたことで、徐々に水が溜まり直径150m・水深さ40mになり青色の水をたたえている。採石場は現在も行っており、石は美しい光沢が特徴で、白い貴婦人と呼ばれ旧茨城県庁、国会議事堂、最高裁判所などの建築物と笠間稲荷神社の石畳にも利用されています。



稲田の石切り山脈と湖

1. 集合 JR取手駅西口ペDESTリアンデッキ 7時10分
2. 交通機関 取手駅7時42分発(常磐線水戸行)～友部駅8時44分着(乗換)・水戸線9時01分発(小山行)～稲田駅9時13分着(下車)
3. コース 稲田駅～いなだふれあい公園～古民家集落～石切り山脈と青い湖～稲田神社～磯崎酒造～いなだふれあい公園～稲田駅
4. 距離・認定 7 km(JVA) 5. 解散 13時55分ごろ 6. 参加費 会員無料 会員外 300円
7. その他 石切り山脈見学料250円(団体料金)・マスク着用・昼食持参。
JR水戸線の日中のダイヤは1時間1本です。例会運行にご協力をお願いします。

「例会報告」 5月21日(土) 池上本門寺と洗足池ウオーク 天候 小雨・曇 / 会員38名・会員外4名

池上駅から広大な敷地の池上本門寺に向かう途中から雨に降られ、本堂・5重の塔・力道山の墓などの見学時は本降りの雨でした。昼食場所の佐伯山緑地公園につく頃雨は止みましたが、午後の出発するころ再び降り始めたが、洗足池に到着したころは止まりました。洗足池では、家族連れが楽しそうにスワンボートを漕いでいました。梅雨の始まりを思わせる1日の天候でした。参加された方の協力も有、やや早目のゴールで解散となりました。



「例会報告」 6月11日(土) 都立水元公園ウオーク

天候 曇 会員 36名・会員外16名

梅雨に入り、雨模様の空が続いていましたが、ウオーク中は雨は降らず少し風がありとても快適でした。花しょうぶの時期が過ぎたのではと心配しておりましたが、私たちが待っていたと勘違いするほど満開で、花しょうぶ園の規模も大きく、多くの方が見学に来ており大変な賑わいでした。東西に長い大きな水辺も含め、東京を代表する公園でした。公園の手前にある「しばられ地蔵尊」に参拝している時、はとバスも1台参拝に来ており、参拝される方が大勢おられ、願掛で荒縄(1mの1本100円を買い求め)を地蔵尊に縛る方が列を作っていました。



■ お知らせ

- 過日、取手市の担当部署との打合せの結果、規模を縮小して河川まつりを実行する方向で検討中について、内容は7月上旬決定との事。当会も同時開催を実行すべく検討及び準備に入りました。開催予定日10月2日(日)詳細は未定であります。運営について一部会員方のご協力をお願いを申し上げます。
- 6月15日取手市健康づくり課のぶらっと取手駅散策・5月21日教育委員会の第30回ふれあいウオーキングに多くの会員の参加がありました。ご協力に感謝申し上げます。

■ IWA関係

- 6月5日(日)開催した第15回つくば国際ウオーキング大会(今年は1日のみ) 全国から629名の参加でした。
- 6月13日(月)指導者会会議(水戸市) ・6月21日(火)3県境&5県ウオークスタッフ説明会(土浦)
- 7月2日(土)3県境&5県ウオーク(古河市で開催) 7月1日(金)前日の準備も含めて当会から延べ4名が支援。
- 7月12日(火)午前部長会議・午後スキルアップ研修 何れも県南研修センター(土浦市)にて開催。

■ 会員情報 大信美智代さん IVV(日本市民スポーツ連盟)記録認定 回数300回・距離5000km達成。

8月以降の例会他

- 7月2日(土) 第5回 3県&5県ウオーク(茨城県古河市)
- 8月6日(土) 小江戸川越ウオーク(埼玉県川越市)
- 9月3日(土) 江の島ウオーク(神奈川県鎌倉市)
- 9月17日(土) 東京タワーと芝公園ウオーク(東京都港区)
- 10月2日(日) 第10回とりで利根川市民ウオーク(取手市)
- 10月15日(土) 泉岳寺ウオーク(東京都)



「編集後記」 □ 新型コロナウイルス感染者数が落ち着きスポーツイベントは、声を発しての応援も可能となり少しづつ日常生活へと進んだ。海外の観光客の受け入れも始まり一層の緩和を期待したい。当会の例会についても、ウオーク開催場所・出発式・歩行形態などの規制解除へ従来通りへ一歩一歩進めます。□6月11日(土)水元公園ウオークの朝、常磐線我孫子駅で乗り換え中に手賀沼に行く「水戸歩く会」の方々と偶然一緒になり、久しぶりにお会いした方と短い時間でしたが会話。こういう場面はコロナ禍では難しいですが、これは通常の活動が始まりつつある現象であります。 □ コロナ3年目の今年、大会の中止・例会の中止・会員の減少とウオーキングの環境は激変しました。また、スポーツを行う人も減少し、どの種目でも同様な課題を背負っています。従来からの活動内容から時代にあった内容へと少しずつ変えていかないと生き残れないかもしれません。